

妙見大祭台風のため 大堂にて奉修される



清澄

平成23年7・8月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (南) プラザ印刷
送料共1部100円

お知らせ

9 月

13日 14:00
虚空蔵菩薩大祭

20~26日
彼岸会

27日 19:00
信行会(唱題行)

10 月

27日 14:00
お会式

27日 19:00
信行会(唱題行)

28日
晓天法要

11 月

27日 18:30
信行会(唱題行)

妙見大祭大堂にて

出開帳となる

七月二十一日・二十二日は年中行事の妙見大祭でした。本年は大型台風六号の接近で、不安な日程となったため、参拝者の参道登山の安全を考慮して、大堂にて出開帳とさせて頂きました。

したが、地元や県内漁業関係者の皆様と県内外から多くのご参拝を頂きました。

十九日の準備では奥の院の妙見山頂まで山務員で清掃に上がり、お堂を掃除した後、妙見様を「さらし」で丁寧に保護し、村田主事が下山、大堂に無事奉安いたしました。

幸いながら台風の直撃上陸はまぬがれましたが、風雨の中での大祭になりました。そのような天候でありま



(二面の三段目へ続く)

佐々木光道執事長退任 新執事長に宮崎雅宣師

平成十八年、岡崎別當の代より請われて執事長をお勤め頂いておりました佐々木光道師は、この度、ご自坊の事情により七月三十一日付けをもって退任されました。



清澄寺の事は、知り尽くしておりますので、今後いろいろな面で、更なる活躍が期待されております。

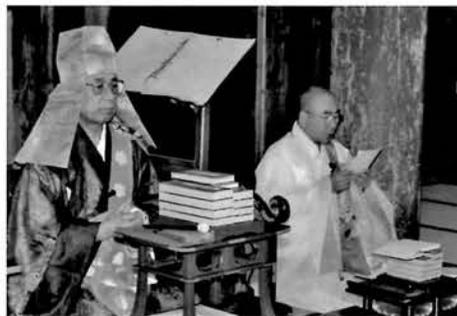
宮崎新執事長は、勝浦・真福寺の住職で、昭和五十九年、塩田別當代より山務員として勤務。布教部・庶務部を経験し七五〇慶讃年前より執事の辞令を受け山務についておりました。

佐々木前執事長は、七五〇慶讃後のお山の運営が大変厳しい状況になりつつある時期に就任され、山務をまじめ護持顕彰にご尽力されました。改めて、そのご法功に感謝を申し上げます。

会鬼餓施大



(一面より続き)
早朝の一番開帳は二宮別當導師により修されました。朝のうちには人数も少ない状況でしたが、山務員の修法師が出仕のもと、読経、祈願法楽。
人数の多少に関係なく至心な法要が厳修されました。
又、二十一日はアクアラインが通行止めになってしまった関係で、二十二日に御参拝頂いた方もおり、翌日にかけてでもお参り頂いた事に、大変感謝を申し上げます。



勝浦市の山本さんや山梨甲州市からご来山頂きました明盛園(ぶどう園)経営の窪田さん親子は「登山は



大変ですが、出開帳になり、お陰さまで妙見様を拝することが出来ました」と喜んでおられました。

八月一日午前十一時より当山の大会鬼餓会法要を二宮別當大導師のもと山務員出仕にて祖師堂で奉修致しました。

この法要は護山会会員と信徒のための法要であります。本年は特に猛暑の中での法要でした。施餓鬼法要は、散華、行堂、灑水、読経と続き参列者の皆さんも灑水焼香しお題目を一心にお唱えされました。

清澄寺運営委員会

開催される

七月二十八日に、清澄寺運営委員会が開催されました。

これは通常、宗務院で行われておりますが、現場を見て頂く必要もあり、当山にて開催となりました。

七月二十八日に、清澄寺運営委員会が開催されました。所長、大塩孝信宗会議員、梶山寛潮総務部長、望月義仁宗会議員、藤原円俊宗会議員、松下憲弘宗会議員、中臣泰斎宗会議員、金子元彦宗務所長、三枝泰英宗務所長、畠山慈浄学識経験者、東孝信学識経験者の十一名



の方々は、十二時三十分に集合され、別當並びに執事長、さらに地元塩崎望巳宗会議員より、当山の現状を説明いたしました。その後、茅葺きで老朽化の本院や、旭が森の急傾斜地等を視察されました。委員の皆さんは、萱が腐り土台から傾いている本院を見て、何とかしなければと話されておりました。

大太鼓張替奉納 特進者現る

前号で特進者をお願い申し上げましたところ、早くも奇特な方から、お申し出



の御連絡を頂き、お陰様をもちまして大堂摩尼殿にある長胴太鼓三台の革の破れ等、両面とも張り替えが出来る状況になりました。

現在既に一台ずつ張り替えを行なっております。完成までは時間がかかりますが太鼓に御芳名を記させていただきます。

従いまして、太鼓の張り替え奉納は終了とさせていただきます。

誠に有難う御座いました。皆さんのお志に、永く感謝の誠を捧げたく思っております。

コスモス 幼稚園 林間学校

今年もコスモス幼稚園の皆さんが林間学校として清澄寺に訪れました。



年長さん園児百十五名、職員三十三名総勢百五十名にも及ぶ二泊三日のお泊まり保育です。

ご両親から離れてのお泊まりは初めての子が多いと思いますが、先生と一緒にしますので、皆仲良く元気に過ごしていました。二宮別當はキャンプファイヤーの輪の中に入り、親しくお話しをされておりました。

各管区の青年会 寺子屋利用相次ぐ

日蓮宗青年会の活動として、各地区で寺子屋が開催されており、清澄寺を会場に実施される管区が増えてきているようです。
次世代の子供たちが清澄寺を利用される事は、大変喜ばしい事です。

実施された管区は…

◎千葉西部青年会

七月二十五日

二十七日(二泊三日)

総勢七十七名

◎東京南部青年会

七月二十六日

二十八日(二泊三日)

総勢六十名



◎東京西部青年会

七月二十八日

二十九日(二泊二日)

総勢五十一名

◎千葉南部青年会

八月四日

六日(二泊三日)

総勢五十七名



談話室

昨年に負けず劣らずの酷暑が続いた夏でしたが、お盆も過ぎますと、朝夕の風が心地よい季節となつてまいりました。

稲作も刈り入れ時期になりましたが、現在の状況をみますと、昨年より多少遅

れ気味のようです。

何よりも心配なのは、放射能汚染ですが、近くの館山市では、汚染はされていないという結果が発表されているところがございます。

その事を思いますと、この夏の暑さで大変ではありますが、被災者の皆さんは更なる不自由と辛さに強

いられた事と思います。

まだまだ復興の先は見えていない事と思ひますが、清澄寺では被災された地域の早期復興と物故者の御供養を連日させて頂いております。

是非皆さんにもご登山頂き、共に物故者のご回向、被災者の速やかなる復興祈願をお祈り致しますよう。